

令和元年8月1日  
(資料提供)

(事務担当) 所属名：農林総合研究センター 農業試験場 総合研究部 病害虫防除室 直通：257-6972
---

## 病害虫発生予報第5号について

今後発生が予想される水稻、大豆、果樹、野菜・花きの病害虫の発生量や防除上の注意事項について掲載します。

1 予報期間 8月上旬～8月下旬

2 予報内容

(1)水 稲

**穂いもち**の発生は**やや多**と予想される。出穂前後に降雨があると発生が拡大するので、この時期の防除は必ず実施する。

**紋枯病**の発生は**やや多**と予想される。防除を実施していない場合は、発病を確認した場合、直ちに防除を実施する。

**斑点米カメムシ類**の発生は**多**と予想される。水田への侵入量が多いため、出穂後の防除を徹底し、斑点米の発生防止に努める。防除後も斑点米カメムシ類の水田侵入が確認される場合、さらに追加防除を行う。

**ツマグロヨコバイ**の発生は**やや多**と予想される。今後の発生状況に留意する。

(2)大 豆

**ハダニ類**の発生は**多**と予想される。抵抗性の獲得を防止するため、同一系統の薬剤は連用しない。

**アブラムシ類**の発生は**やや多**と予想される。抵抗性の獲得を防止するため、同一系統の薬剤は連用しない。

**カメムシ類**の発生は**やや多**と予想される。幼莢期から子実肥大期に必ず防除を実施する。

**フタスジヒメハムシ**の発生は**やや多**と予想される。汚斑粒の発生要因となるため、子実肥大期の防除を徹底する。

(3)果 樹

**ハダニ類**の発生は**多**と予想される。抵抗性の獲得を防止するため、同一系統の薬剤は連用しない。発生源となる下草を刈り取った後、防除する。

(4)野菜・花き

**ハダニ類**の発生は**多**と予想される。抵抗性の獲得を防止するため、同一系統の薬剤は連用しない。

**アブラムシ類**の発生は**やや多**と予想される。抵抗性の獲得を防止するため、同一系統の薬剤は連用しない。

**シロイチモジヨトウ**の発生は**多**と予想される。若齢期の幼虫の防除を徹底する。

※病害虫防除の実施に当たっては、最新の農薬使用基準を確認し、遵守する。